

No.1

走りで見せた主将の意地

男子6位、女子は7位 球磨人吉中体連駅伝大会



最高の走りでチームの流れをつくった主将の福屋選手

平成30年度球磨人吉中体連駅伝大会は10月16日、あさぎり町立あさぎり中学校をスタート、

フィニッシュとする男子6区間20キ、女子5区間12キのコースで開かれ、湯前中学校男子(井上達晃監督)が6位、女子が7位でフィニッシュしました。

男子は1区(4キ)で先頭の相良中学校を追う集団から、主将の福屋選手(同校3年)瀬戸口が飛び出して、スタートダッシュに成功。2位でたすきをつなぐと、2区(3キ)、落合諒選手(同2年)中猪(か)が区間賞の走りで、先頭との差を縮めました。その後、一時トップに立ったものの、徐々に後続が迫り順位は後退。激しい2位争いを繰り広げましたが、湯前中はトップと2分差となる1時間08分23秒での6位でフィニッシュ。女子は永瀨香琳選手(同2年)浜川(か)が最後に一人を抜き返す意地を見せ、50

分46秒の7位でフィニッシュしました。福屋選手は「とにかく先頭にくらいつき、少しでも早くたすきをつなぐことを心がけていた。練習よりも体が軽く、序盤から飛ばしていくことができた。目標の県大会に行けず、とても悔しいが、全員が良い走りをしてくれた」と話していました。

◆競技結果

⑥湯前中 1時間08分23秒

※(通過順位)(区間順位)

- 1区 福屋 渉 (2)(2)
- 2区 落合 諒 (2)(1)
- 3区 篠宮 光陽 (3)(8)
- 4区 黒木 海斗 (4)(3)
- 5区 岩野 陽太 (4)(6)
- 6区 北崎 雄一郎 (6)(9)

〈女子〉

⑦湯前中 50分46秒

※(通過順位)(区間順位)

- 1区 椎葉 愛華 (8)(8)
- 2区 庄籠 珠有 (9)(10)
- 3区 中田 有咲 (10)(10)
- 4区 瀨田 莉星朱(10)(9)
- 5区 永瀨 香琳 (9)(8)

ゆのまえ観光案内人協会(有馬鉄郎会長)のガイドツアー「実りの秋、郷あるき」が9月22日にふれあい交流センター「湯」とびあを発着点に町内一帯で開かれ、18人が秋の魅力を感じながら6キのコースを歩きました。

観光案内人協会は昨年4月に設立されました。今回は、秋の魅力を多くの人に感じてほしいと本年度1回目のツアーを企画し、人吉球磨管内や遠くは鹿児島県から申し込みがありました。参加者は湯とびあで受付を済ませ、9人の観光案内人からそれぞれ説明を受けながら、上里の町観音く明導寺く上村毘沙門堂く下村婦人会市房漬加工組合を巡りました。

景色だけでなく、本町の特色でもある「おもてなし」を楽しんでほしいと、受付時にアメを配り、葉っぱで作ったバツタをテーブルに飾るなどして参加者をおもてなし。道中では真っ赤に咲き誇るヒガンバナや木々が迎え、参加者は秋晴れの中、涼しい風を浴びながら町内を歩いていました。

案内人は歩く参加者の間に入って笑顔で会話を交わし合いました。歩き終えた後には、サプライズ

で、下村婦人会の漬物や柚子ジャムをお土産としてプレゼント。参加者はうれしそうに持ち帰っていました。

同協会事務局で地域おこし協力隊として活動する椎葉賢也さん(24)野中田(3)は「ツアー中、終始笑顔が見られ、参加者同士やスタッフとも会話を楽しんでもらえたことがよかった。秋ならではの風景やおもてなしを堪能してもらえたのではないかと。今後、観光案内人だからこそ体験できることにこだわってツアーを企画していきたい」と話していました。本年度は計3回のツアーを予定しています。



1湯前の自然とおもてなしに参加者の笑顔が咲き誇る2明導寺を参加者に説明する案内人3上里の町観音では、漬物、ごはん、茶菓子など充実したおもてなし4たくさん会話を交わし、参加者も案内人も仲良しに

No.2

涼しい風と温かなおもてなし堪能

実りの秋、郷あるきツアー



道中は咲き誇るヒガンバナが参加者を出迎えた



エース区間のプレッシャーと戦いながら、食らいつく2年生の椎葉選手



全員のたすきをつなぎ、最後まであきらめず、懸命に走った6区北崎選手(右)と5区永瀨選手(左)

